

バラエティ豊かなラインナップ

チョコエッグ

本物のおいしさ

セコイヤチョコレート

フルタ製菓株式会社

〒544-0023 大阪市生野区林寺6-7-22

菓業食品新聞

The Journal of confectionery

URL:http://okashi.info

e-mail:okashi@nespe.com

平成29年 15歳未満の子ども人口

1571万人、前年比 17万人減

総人口比、43年連続で低下

昭和57年から36年減少続く 15歳未満、総人口の12.4%

男女別子どもの数

		平成29年	平成28年	対前年 増減数
		4月1日現在	4月1日現在	
こどもの数 (万人)	男女計	1571	1588	-17
	男	805	813	-9
人口性比	男	767	775	-8
	女	105.0	104.9	0.1
総人口 (万人)	男女計	12679	12698	-19
	男	6169	6178	-9
人口性比	男	6510	6520	-10
	女	94.8	94.8	0.0
総人口に占める こどもの割合(%)		12.4	12.5	-0.1

が805万人、女子が767万人となっており、男子が女子より38万人多く、女子100人に対する男子の数は105.0%となっている。

子どもの数を年齢3歳階級別にみると、12〜14歳が335万人(総人口3つの区分でみると、それぞれ33.5万人(同割合2.6%)、9〜11歳が321万人(同割合2.5%)、6〜8歳が317万人(同割合2.5%)、3〜5歳が304万人(同割合2.4%)、0〜2歳が204万人(同割合1.6%)となっている。

これを中学生の年代(12〜14歳)、小学生の年代(6〜11歳)、未就学の減少を反映して低下を

続け40年に総人口の約4分の1となった。昭和40年代後半には第2次ベビーブーム期(昭和46〜49年)の出生児数の増加によってわずかに上昇したものの、昭和50年から再び低下を続け、平成9年には65歳以上人口の割合(15.7%)を下回って15.3%となり、29年は12.4%(前年比0.1ポイント減)で過去最低となったことから、子どもの割合は昭和50年から43年連続で低下した。

なお、割合が一番高いのは沖縄県で17.2%、大阪府は12.3%で28位、東京都は11.3%で44位、最低は秋田県で10.3%。また、世界統計では、人口4千万人以上の国で、子どもの割合は日本が最低となっている。

職業アンケート

小一女子、「ケーキ屋」首位

2018年の新小学1年生に実施したアンケート(クラレ調査、2019年4月5日)で、女の子4.5%、女の子4.7年12月、男女各2千人)によると、将来就きたい職業の1位は前年同様で男の子は「スポーツ選手」20.5%、女の子は「ケーキ屋」29.1%となつた。

位	職業	%	職業	%
1	ケーキ屋・パン屋	29.1	スポーツ選手	20.5
2	芸能人・歌手・モデル	9.3	警察官	12.5
3	看護師	6.8	消防・レスキュー隊	7.8
4	花屋	5.5	運転士・運転手	7.5
5	医師	4.6	TV・アニメキャラクター	6.3
6	保育士	4.1	研究者	4.6
7	教員	4.0	医師	4.5
8	美容師	3.6	大工・職人	4.0
9	警察官	3.6	ケーキ屋・パン屋	3.0
10	TV・アニメキャラクター	3.2	自営業	2.4

6%)となった。女の子は「ケーキ屋」が昨年より1.4%増加し、4.6%となり、初めて20位以内に入った。女の子は「美容師」や「美容関係」が「スポーツ選手」となり、調査開始以来20年連続で「ケーキ屋・パン屋」の内訳は「ケーキ屋」が84.6%を占めており、スイーツを作る仕事に憧れを抱いている女の子が多いよう。またアイススクリーム屋は2.6%で11位となった。

女の子の1位は、調査開始以来20年連続で「ケーキ屋・パン屋」の内訳は「ケーキ屋」が84.6%を占めており、スイーツを作る仕事に憧れを抱いている女の子が多いよう。またアイススクリーム屋は2.6%で11位となった。

4面ルックアップフードホール開店
6〜8面 ANKA菓子生産量
10〜11面 京都駅地下街ポルタ改装

ブルボン
プチでOK!

ブルボン
プチ

おやつはブルボン
プチシリーズ

さらなる24種類
限定プチもあるよ!

©プチクマ